

銀河レポート401

NO. 14
7月号

発行日：平成28年7月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：http://www.city.yokkaichi.
mie.jp/museum/museum.html

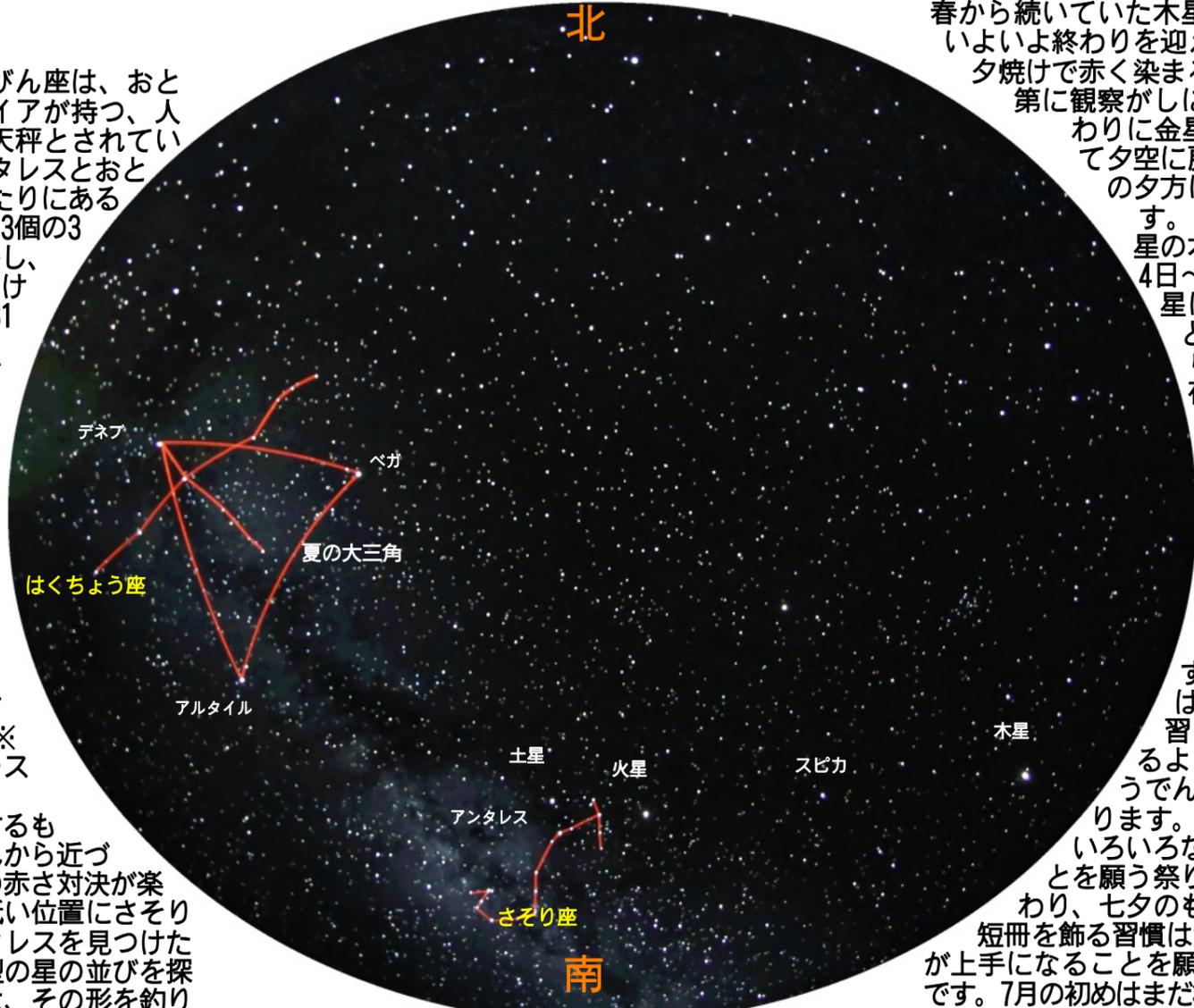
7月の星空

てんびん座

夏の夜空に南中※するてんびん座は、おとめ座の正義の女神アストライアが持つ、人間の善悪を量るときに使う天秤とされています。さそり座の1等星アンタレスとおとめ座の1等星スピカの間あたりにある裏返しの「く」の字のような3個の3等星の並びが目印です。しかし、この夏に限ってはもっと見つけやすい方法があります。5月31日に地球に最接近した明るく輝く火星がてんびん座のそばにいます。火星のおかげでてんびん座が見つけやすくなっていますので是非探してみてください。
※南中…天体が真南にくること

さそり座アンタレスと火星の競演

5月31日に大接近した火星ですが、接近の頃はアンタレスから西へどんどん離れていきました。7月に入ると順行※に移り、火星は再びアンタレスに近づいていきます。アンタレスは「火星に対抗するもの」という意味があり、これから近づいてくる火星とアンタレスの赤さ対決が楽しみです。また、南の空の低い位置にさそり座が見えます。1等星アンタレスを見つけたら、アンタレスを含むS字型の星の並びを探してみてください。日本では、その形を釣り針に見立て、魚釣り星とか鯛釣り星と呼ばれています。
※順行…地球から見て天球上を西から東へ向かって動く視運動



GINGA PORT401内で撮影

7月9日夕方に木星が月に接近

春から続いていた木星の観察シーズンもいよいよ終わりを迎えます。今後木星は夕焼けで赤く染まる西の空に輝き、次第に観察がしにくくなっていき代わりに金星が一番星の座を狙って夕空に戻ってきます。7月9日の夕方には月と木星が並びます。月齢5の月と、-1.8等星の木星です。また、7月14日～16日は月が火星と土星に接近をします。火星と土星はこれからしばらくの間見頃です。夜半前には南の空によく見えますし、夏は気流も安定していますので、ぜひご覧ください。

七夕伝説

7月といえばやはり七夕ですね。七夕は中国の星の伝説に由来します。中国ではこの7月7日は手先が器用な織姫に習って、裁縫が上手になるよう祈る「乞巧奠(きこうでん)」という行事があります。また、裁縫以外にもいろいろなことが上手になることを願う祭りで、これが日本に伝わり、七夕のもとになっています。短冊を飾る習慣は江戸時代からで、字が上手になることを願い、書いたのが始まりです。7月の初めはまだ梅雨時で、織姫(ベガ)と彦星(アルタイル)を見るチャンスが少ないかもしれません。七夕はやはり8月の「伝統的七夕」の日のほうがチャンスはありそうです。今年の伝統的七夕は8月9日です。

木星探査機ジュノーが木星に到達! 木星調査を開始!

2011年に打ち上げられた木星探査機ジュノーが、ついに7月4日に木星に到達しました。ジュノーは木星に到達するまで3枚の太陽電池パネルを風車のように回転させながらゆったりと飛び、木星に到達すると、すさまじいスピードで木星を取り巻く強い放射線帯に突入しました。この放射線帯に突入してからの35分間を乗り切り、



(CG) NASA

表面の雲に500kmまで接近し、無事安定した軌道に落ち着きました。

木星では、

大気の深層部について詳細に調査します。また、表面を覆う雲の外側についても調査が進められます。

これらの研究から木星の成り立ちが分かり、さらには生命が誕生したプロセスや、第2の太陽系を見つけるヒントを得られることが期待されます。

銀河系では地球よりも大きな惑星が太陽のような恒星のかなり近くを周回しているのが本来の姿らしいですが、太陽系では、太陽の近くにそうした大きな惑星は一つもありません。これは、数十億年前、木星が内部太陽系※を大移動し、次々と地球に似た生まれだての惑星を粉々に砕いていったからだという新説が昨年3月発表

されました。

今回の調査で、この新説の解明につながるものが発見されるかもしれません。

※内部太陽系…太陽系のうちで地球や火星といった岩石惑星がある地球に近いエリア



ジュノーが2016年6月21日にとらえた木星と四つの衛星の写真



★★観望会★★



《 博物館主催きらら号観望会 》

日時：7月23日(土)
時間：19時30分から21時
場所：市民公園
内容：火星と土星を見よう
※天候不順時は中止です。

《 天文ボランティア主催観望会 》

日時：7月9日(土)
時間：19時30分から21時00分
場所：市民公園
内容：火星と土星を見よう
※きらら号は出動しません。
※天候不順時は中止です。

7月の月

4日



新月

12日



上弦

20日



満月

27日



下弦

編集後記

夏休みも近づいてきましたが、梅雨が明けるといよいよ夏本番ですね。春の夜空に輝いていた火星と土星もまだまだ見頃です。

また、大西宇宙飛行士を乗せた宇宙船ソユーズが、国際宇宙ステーションにドッキングしました。これから始まる実験も注目ですね。

